

能登半島地震ボランティア

被災地の中学生・高校生とのバレーボール交流会

3月16日(土)・17日(日)、石川県羽咋市において能登半島地震における被災地域の中高校生とのバレーボール交流会を開催しました。

私達バレーボール部は毎年3回程、羽咋市にある「国立能登青少年交流の家」において全国の高校生とのバレーボール合宿に参加しています。今年の1月もその合宿に参加する予定でしたが元旦におきた能登半島地震の影響で中止となりました。そこで、その合宿に参加する予定だった岐阜県の益田清風高校の熊崎先生の発案で、毎年お世話になっている石川県・能登地域・羽咋市に少しでも恩返しができないかと思い石川県の災害ボランティアに登録しました。しかしながら、実際の災害ボランティアは女子高校生ができる作業も限られており、また様々な障壁もあるためどのように協力できるか考えていたところ、石川県七尾市にある鵬学園高校バレーボール部元コーチの坂本緑様からのご提案で今回の交流会が実現しました。

16日(土)は鵬学園高校・七尾高校・鹿西高校・田鶴浜高校と益田清風高校・本校の高校生6チームで練習試合を行い交流しました。全チーム笑顔でバレーボールを楽しみ、またうまくいかない時にはおおいに悔しがり、真剣にバレーボールに取り組んでくれました。中でも田鶴浜高校は学校の被害が大きく、未だに他校等へ分散して授業を行っているため、地震後初めてバレーボールをしたということで参加することに尻込みする姿もあったようですが、終了後に「来てよかった」と言ってくれて、被災者を元気づけようと思っていた我々がかえって元気をもらうという事態にまでなりました。

17日(日)は七尾東部中学・能登香島中学・中能登中学・志賀中学の中学生4チームとバレーボール教室を開催しました。益田清風高校の熊崎先生の指導のもと高校生と中学生とが一緒になり一生懸命取り組んでくれました。ご存じの通り志賀町は最大震度7の地域です。志賀中学は部員全員が参加することができない状況でありながら3名の生徒が本当に一生懸命、そして楽しそうに参加してくれました。

2日間とも練習後には益田清風高校と本校の生徒から各学校に記念ボールや色紙などを手渡し「頑張ってください!」と声をかけさせていただきました。

まだまだ避難所での生活であったり、断水が続いているためお風呂に入れなかったりと、それぞれたいへんな思いをしている生徒や指導者の方もいました。それでも参加された指導者の方が「私たちはまだ良いです。ここより北の方の方はもっと辛い思いをされています」という言葉が大変印象的でした。

2日間という短い時間でしたが、今回このような交流会を実現できて本当に良かったと感じています。これからも、心から応援しています。

がんばれ能登半島!!

文責 バレーボール部監督 熊木博幸